

GATE★BOOK

号外

10代におくる新着ブックガイド。

2012年 10月発行

職場体験実習生 おススメ本

今回の『GATE BOOK』は、職場体験にきてくれた
米沢女子短期大学、山形大学、宮城学院女子大学
の皆さんからの紹介です！！

同年代のおすすめする本を是非読んでみてください

山形県立図書館

山形県緑町 1 丁目 2 - 3 6

電話 023-631-2523

FAX 023-632-9358

HP <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>

携帯HP



『エンジェル』

石田衣良/著 集英社 913.6/イ

「ぼくは、もう死んでいる？」

ある夏の夜、主人公である掛井純一は自分が埋葬されている所を目撃する。

彼は何者かに殺され、幽霊として甦ったが、死からさかのぼって2年間の記憶がないのだ。次第に明らかになっていく真実、そこで彼が取った行動とは...

死のなかにある「生」について考えさせられる一冊です。

『臨床真理』

柚月 裕子/著 宝島社 Y913.6/17

臨床心理士、佐久間美帆は、藤木司という青年を受け持つことに、その青年は声に色彩を感じるという共感覚をもっていて、同じ施設に暮らしていた水野彩の死は他殺だったと主張し美帆は調査し始めます。嘘をついていると赤といったように声が色に見えるというような共感覚を軸にした山形県在住の著者による一風変わったミステリーです。

『ガールズ・ブルー teens' best selections』

あさの あつこ著 ポプラ社 Z913.8/アサ

「すっぴんのあたしも、悪くないか。」

主人公の理穂をはじめ、登場するのは等身大の少女たち。彼女たちのひと夏の模様を鮮やかに描いた青春小説。

『アゴールニズ』

ジョー・ウォルトン / 著 早川書房 933.7/ウオ

物語の中心を担うのはドラゴン。

あることがきっかけで、父親の死後、遺された兄妹達と義兄の関係が悪化する。その上、主人公のセレンドラは仲の良い妹と引き離され、別々の家に引き取られることになる。

そんなセレンドラに、ある日衝撃的なニュースが舞い込んできた。

『絵のない絵本』

アンデルセン/著 新潮社 949.73/7
ン

デンマークの代表的童話作家アンデルセンの作品。

友達もいない貧しい絵描きが、ある晩、外を眺めていると月が話しかけてきた。月は自分が見てきた物語を絵描きに聞かせる。

約100ページの中に月が話した33の物語が書かれている。

『きみはポラリス』

三浦 しをん著 新潮社 913.6/ミウ

「恋愛」をテーマにした短編の依頼が多いという著者が描く、様々な「恋」のかたち。最後に記された、各作品のテーマにも注目。

『東の海神 西の滄海』 十二国記』

小野不由美/著 講談社 913.6/オノ

この本の世界には、十二の国があり、そこにはそれぞれ一人王が存在します。その十二国の内、「雁」国の物語です。

先王によって廃墟と化した雁国。新王、尚隆は豊かな国にすることができるのだろうか。宰輔、六太が望む「緑の山野」は叶うのか。

難しそうな内容ですが、尚隆と六太の会話がおもしろいので、読んでみてください！

『チェーン・メール ずっとあなたとつながっていたい YA!entertainment』

石崎 洋司著 講談社 Z913.8/イシ

「虚構の世界でいっしょに遊びませんか」

この携帯に届いた一通のメールから始まった、物語を紡ぐ少女たちのお話です。

彼女たちが紡いだ物語の結末を、ぜひ自分の目で確かめてみてください。

『凶南の翼 十二国記』

小野不由美/著 講談社 913.6/オノ

この本の世界には、十二の国があり、そこにはそれぞれ一人王が存在します。その十二国の内、「恭」国の物語です。

何不自由なく豪商の娘として育った少女珠晶は、荒廃した国を憂い、自ら王となるため王になれる旅に出かけるのですが...

珠晶から責任のあり様など学べるのが沢山あります。ぜひ読んでみてください。

『ホモセクシャルの世界史』

海野弘/著 文藝春秋 367.97/ウシ

あなたは同性愛についてどう思っているでしょうか。この本では、ギリシャ神話といった古代のものから20世紀、21世紀までの近代の世界の同性愛の状況まで書かれています。

1つ1つの話が短いので、興味を持った所から気軽に読むことができます。あまり知られていない歴史を知ってみませんか？

『オチケン！ミステリーYA！』

大倉崇裕/著 理論社 Z913.6/オオ

『オチケン』とは、『落語研究会』略称である。大学に入学して早々、ある理由により『オチケン』に強制的に入らされた越智健一。大学内で起きる難(?)事件をオチケンが解く！

『ポッコちゃん』

星 新一/著 新潮社 913.6/ホシ

数々のショートショートの名作を生み出してきた星新一の短編集。代表作「ポッコちゃん」をはじめ、ユニークな物語が勢ぞろい！

ユーモアでちょっぴりシニカルな星新一ワールドぜひお試しください。

『平台がおまぢかね』

大崎 梢/著 東京創元社 913.6/材/

とある出版社に勤める新人営業マン、井辻智紀は、個性的な同業者に囲まれながらも、日々奮闘中。そんな彼がであう、本と人との暖かい絆を描いたハートフルストーリー。

これを読めば、あなたもきっと本がもっと好きになるはずです。

『裁判官が見た光市母子殺害事件』

井上 薫/著 文藝春秋 326.23/イ/

1999年、山口県光市で起きた母子殺害事件は犯罪被害者の権利拡充や少年法の壁といったことからマスメディアでも大きく報道され、今年3月1日に死刑が確定したということもあり記憶に新しい事件だと思います。この本では、一連の裁判について裁判官という視点から見ており、報道とは違った角度から事件を知ることができる一冊となっています。

『夢がかなう日 その時輝いた7人の子どもたち』

清水久美子著 偕成社 369.9/シ/

「イルカと遊びたい」「NASAに行きたい」……これは、メイク・ア・ウィッシュで夢をかなえ、すばらしい命の輝きをみせた7人の子どもたちのエピソードです。

人は夢から生きる力、そして勇気をもたらえる。そう感じさせてくれる本です。

『夢のカルテ』

高野和明、阪上仁志/著 角川書店 913.6/効

江戸川乱歩賞を受賞した作家が送る夢で行う治療の物語。夢の中に入れる彼女は患者をどう癒すのか…?『ジェノサイド』と同じ作者ですが話の雰囲気はかなり違います。女子にオススメ!

